

中野元太さんの話を聞いて考えたこと

なぎさ小六年一組田内 那奈

私は、中野元太さんのボランティア活動の話を聞いて、ネパールでの防災活動の話で、スクリーンに映った街中はとてもにぎやかで、商店街みたいでした。ものごいをする子供の話を聞いたときは、意思表示をしないと、聞いてたので、とてもびっくりしました。道に牛がぬころが、いて、奈良と同じだなと思いましたが、地震の対策の話を聞いてみると、

前まで使っていた校舎は、かバに穴があいて、よく見ると、地震がこなくてもおれそうにな、てゆがんでいたり、ゆかがおちそう、で、上から土がぼらぼらと落ちてきたりした。ネパールの家の作りは、とても弱く、少しのゆれで、全壊するほどだ。私は、そ人なに、弱いゆれで全壊するなんて、たぶん日本では考えられないと思います。家の中で、は、日本と同じように、ご飯を食べたりして、いるんだな。と思いました。日本と同じように

家の作りによれば、家が丈夫になっ
ていい人じゃあないかな。と思
いました。

次に、スリランカの話を書き
ました。

スリランカには、二年前に大
きな地震とその地

震によつて、津波が発生した。
わたしは、そ

んな事が起こつて、津波を体
験したスリラン

カのヨハン君は、海を見た
ただけでこわいと思

するほど、おそくしかつた
んだと思います。

私は、後分たなく流されて
しまつていて、こ

こにも海があるので、少し
こわいと思いまし

た。でも、スリランカに行
つて、家族と一緒

にいた、ヨハン君は、笑顔
で、海につれて行

つてくつて、足を付けた
り、もうこわくな

いとか言つていたとか聞
いて、家族と一緒

にいたら、安心してさる
のかなと思ひました。

絵本の読み聞かせで、地
震のあと、ちよつと

したことで、びっくりし
たり、親にぞつと

いて目つて、くつていて
たりしてしまふ人

だぞと思ひました。

私の震災体験の話を書いて、
中野さんは

小学一年生で、地震のとき知らなかつた、
その時は、一九九五（平成7年）一月十七日
午前五時四六分に、地鳴と大きな地震が起こ
った。家のかべにひびが入って、いると聞いて
ひっくりした。しゅんきが全部わけて、水道
が止まってしまふのは、どんなに大変なこと
なのかなと思いましたが、私は、小学校に入っ
てから、水道が使えないことは無かつたから
です。家族でひめ路にひなしたと聞いて、
たるみからあざあざ行っているなんて、地
震が起ると大変な人だなと思いましたが、地
震は、とイモこわい体験だ。たからわすれよ
うとした。と聞いて、わすれてもいいことな
のかなと思つたけど、ちやんと、守れた命があ
ったんじやないかなとか、考えて最後には、
ボランティア活動をしていたので、ゴいなと
思いました。